

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
1	硯箱	桐	1合	江戸後期		30.1×18.0×4.6	桐二方棧蓋箱, 蓋表「硯」, 蓋裏貼紙(頼春水筆)「法賀古瓦硯 千齡所寄 琉球硯 匣附 島津兵庫所贈(後略)」, 箱内底面貼紙(頼春水筆)「龍硯 鏡石 一 (中略) 島津兵庫 琉球 一 (中略) 高島 一元齡 古高島硯」, 蓋棧一本欠, I-196-2を収納	I-196-1
2	硯	石	1面	寛政6年		9.2×4.5×0.8	硯箱(10.0×5.4×1.7, 黒漆塗蓋)付属, 箱内底面朱漆書『松雨山房』, 底板朱漆書『必正』, 硯陰刻字「歳在甲寅七月 春水」	I-196-2
3	硯「清慎勤和」	石	1面	安政6年		15.0×11.4×1.6	黒柿蓋(15.6×11.2×0.6)付属, 蓋表朱漆書『清慎勤和』, 蓋裏朱漆書『此題字山陽大人嘗贈聿庵兄者, 今亦挙以示子明欲曰省不忘也 己未春日 復』	I-198-3
4	硯	石	1面	江戸後期		9.2×10.6×1.7	六角形, 硯陰朱漆書『頼氏蔵』	I-200-1
5	硯	石	1面	江戸後期		7.5×5.5×1.2	長方形	I-200-2
6	硯(山葡萄彫刻)	石	1面			14.7×10.5×2.1	黒檀硯箱(16.6×12.0×4.0)付属, 身を硯形に削り貫き	I-198-1
7	硯(唐子彫刻)	石	1面			18.1×12.1×3.9	黒檀蓋(18.1×11.9×0.9)	I-198-2
8	陶硯(古銭型双龍染付)	陶製	1面		竹泉	12.1×9.7×2.5	蓋:12.1×9.7×1.0, 身:12.1×9.7×1.5, 身側面に染付「竹泉」	I-198-4
9	硯	石	1面			22.8×16.9×6.0	桐印籠箱(25.5×19.2×10.1), 包裂(43.0×32.0, 金地雲文様)付属, 縁(右)刻字「英武洲前抱石帰, 琢来猶自帶清輝」, 同(左)刻字「芸窓尽日無人到, 坐看元雲吐翠微」, 縁上部に鯉と琴高仙人の彫刻, 黒檀蓋(15.0×10.2×0.6)付属	I-199
10	筆巻	竹・麻	1点	江戸後期		31.2×49.8	竹に刻字・墨「松雨山房」, 麻に墨「頼」[「けふの都にをるぬのの せつ[き世にもあひにけるかな」, 竹・麻ども墨汚れ甚	I-180
11	筆筒	竹	1本	江戸後期		直径11.6×15.8、内径9.4	側面に『靈心員口(映力)』, 天部竹切断面を滑らかに加工, 底部虫損などを紙片補修, 墨汚れあり	I-181
12	硯箱「松廬」	桐、黒・朱漆塗	1合	江戸後期		27.0×14.6×9.7	松二方棧蓋箱(30.3×18.0×14.2)・紐付藍染麻袋(27.5×14.8×11.0)付属, 蓋表「十七」, 貼紙「十七」, 六段重蓋硯箱(側板:黒漆地に金泥で松), 1段目(27.0×15.0×1.6, 蓋表に刻字・金泥「松廬」, 蓋裏に硯付属), 2~6段目(27.0×14.8×1.7, 硯付属), 硯:(1段目:15.0×8.8, 2段~6段目:15.0×5.0)	I-194
13	硯箱「松廬」	桐	1合	江戸後期		25.7×16.2×8.8	二段重蓋硯箱, 蓋(25.7×16.1×0.6)表に刻字「松廬」, 1段目:25.6×16.2×3.8, 2段目:25.7×16.2×4.4, 蓋表裏と四方側板に塗り跡あり	I-195
14	携帯用硯箱	木製	1面	明治時代カ		18.7×8.3×2.0	蓋蝶番連接, 内部に墨用硯(9.3×4.7×7.0)・朱墨用硯(5.0×2.7, 高さ計測不能)・墨用筆(長:13.9, 径:0.5, 鳩居堂監製証シール)・朱墨用筆(長:14.0, 径:0.5)・朱墨片あり, 外紙箱(19.3×8.8×2.2, 表墨書「上」)付属	I-197
15	墨(人物図)	墨	1点			8.3×3.1×0.7	表面:人物図(金彩色), 裏面:「御製詩」(龍朱彩色)	I-201-3
16	墨(八駿図)	墨	1点			10.7×3.3×0.8	表面:放牧八頭馬図, 裏面:「八駿図」	I-201-4
17	墨(龍華墨)	墨	1点			6.8×2.7×1.3	表面:「龍華墨」, 裏面:草花図, 右側面に「鳩居堂製」	I-201-5
18	墨	墨	1点			5.0×3.5×1.7	表面:「氣叶(欠)」, 裏面:松樹図, 左側面に「熊谷鳩居堂」	I-201-6
19	刀子	鉄, 木, 籐	1点			24.7×1.5	柄に籐蔓を巻き, 漆塗	I-201-7
20	文鎮「頼山陽先生一百年記念講話」	黒檀	1対	昭和7年		2.8×2.8×30.2	一対二本, 刻字①「萬古」「□□」, ②「師表」「□」「静□」, 桐文人指蓋箱(32.0×6.6×4.0)付属, 蓋表「表謝 支那哲文学学生会」, 蓋裏「昭和七年一月二十三日東京帝国大学支那哲文学科生請頼文学士聴頼山陽先生一百年記念講話因奉呈文鎮一対謹表謝甚」	I-202
21	水注(急須型)	朱泥	1点	嘉慶年製(寛政8~文政3年)		6.5×11.0×6.0	糸底に刻印「嘉慶年製」	I-203
22	水滴(亀)	陶製カ(赤褐色)	1点			7.0×4.8×4.1	底面に墨書あり	I-170

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
	頼春水印章						I-183-K1~K48まで一括、黒漆塗棧蓋二段箱(28.4×13.5×10.8)付属、(蓋)28.4×13.5×1.1、(1段目)28.4×13.5×4.5、内径:27.4×12.6×3.6、(2段目)28.4×13.5×5.3、内径:27.5×12.6×3.8、蓋金字「嘉竹」、2段目に仕切りの厚紙、印章名の墨書あり(頼古媒筆)	I-183
23	印章「頼惟完印」	柘植、黒漆塗	1 顆	寛政 12 年		2.0×1.7×5.6	陽刻、側面に頼春水筆『寛政庚申之夏霞厓』、印袴付属、II-11-1「春水先生遺印」に「此二顆、春水翁自布字命工彫刻者」との記載あり	I-183-K1
24	印章「霞厓」	柘植、朱漆塗	1 顆	寛政 12 年		2.1×1.7×5.6	陽刻、側面に頼春水筆「二顆之一 惟完」、印袴付属、II-11-1「春水先生遺印」に「此二顆、春水翁自布字命工彫刻者」との記載あり	I-183-K2
25	印章「大雅」	御影石(花崗岩)	1 顆	江戸中後期	趙陶斎	3.9×2.3×2.1	陽刻、印袴付属、II-11-1「春水先生遺印」に「陶斎趙翁刻」との記載あり	I-183-K3
26	印章「子孫保之」	水晶	1 顆	江戸中後期	三井善之	1.8×1.8×2.2	陰刻、印袴付属、II-11-1「春水先生遺印」に「三井善之刻」との記載あり	I-183-K4
27	印章「和亭」	御影石(花崗岩)	1 顆	江戸中期	葛子琴	1.8×1.8×3.2	陽刻、鈕(獅子・阿)、印袴付属、II-11-1「春水先生遺印」に「葛子琴刻」との記載あり	I-183-K5
28	印章「必正楼」	御影石(花崗岩)	1 顆	江戸中期	葛子琴	2.5×2.5×3.6	陽刻、鈕(獅子・咩)、印袴付属、II-11-1「春水先生遺印」に「葛子琴刻」との記載あり	I-183-K6
29	印章「竹日松風」	柘植	1 顆	江戸後期		1.8×1.6×2.4	陰刻、印袴付属	I-183-K7
30	印章「惟」「完」(連印)	柘植	1 顆	江戸後期	武子玉	1.7×0.7×0.9	陽刻、印包裂付属、II-11-1「春水先生遺印」に「武子玉刻」との記載あり	I-183-K8
31	印章「春水」(両面印)	柘植	1 顆	江戸中後期		1.9×1.9×1.5	陰刻「春水」、陽刻「春水」、印包裂付属	I-183-K9
32	印章「頼氏必正楼」「嶺松廬」(両面印)	御影石(花崗岩)	1 顆	江戸中後期		2.8×2.1×2.1	陽刻、側面に刻字「桑宥」、印包裂付属	I-183-K10
33	印章「頼惟完印」「松雨山房」(両面印)	竹根	1 顆	江戸後期	佐藤虞臣	1.8×1.8×3.1	陰刻「頼惟完印」、陽刻「松雨山房」、印包裂付属、台木破損、II-11-1「春水先生遺印」に「佐藤虞臣刻」との記載あり	I-183-K11
34	印章「孝青田」	御影石(花崗岩)	1 顆	江戸中後期		1.7×1.4×3.8	陰刻、鈕(獅子)、印袴付属	I-183-K12
35	印章「千里如面」	御影石(花崗岩)	1 顆	江戸中後期		1.5×0.8×1.6	陰刻、側面に刻字「節堂」、印袴付属	I-183-K13
36	印章「流水」	磁製	1 顆	江戸後期		2.3×2.1×1.6	陽刻、鈕あり、印袴付属、II-11-1「春水先生遺印」に「二洲先生所貽」との記載あり	I-183-K14
37	印章「半隠」	石	1 顆	文化 2 年	(頼春水カ)	2.6×2.1×3.2	陰刻、側面に刻字「乙丑梅月戯作」、印袴付属	I-183-K15
38	印章「頼」	石	1 顆	江戸後期		1.4×1.3×3.4	陰刻(円印)、印袴付属	I-183-K16
39	印章「春水」	珪化木	1 顆	江戸後期		2.2×1.6×0.5	陽刻、印袴付属	I-183-K17
40	印章「春水」	磁製	1 顆	江戸後期		2.7×2.7×4.6	陰刻、鈕(獅子)、印袴付属	I-183-K18
41	印章「松雨」	磁製	1 顆	江戸後期		2.8×2.8×4.5	陰刻、鈕(獅子)、印袴付属	I-183-K19
42	印章「孤飛」	石	1 顆	江戸後期		1.3×1.3×1.9	陽刻(円印)、印袴付属	I-183-K20
43	印章「千秋」	竹根	1 顆	江戸中後期		1.5×1.5×4.0	陽刻	I-183-K21
44	印章「惟完頼印」	石	1 顆	江戸後期		2.3×2.3×3.8	陰刻、印袴付属	I-183-K22
45	印章「春水」	陶製	1 顆	江戸後期		2.3×1.5×2.0	陽刻、鈕あり、印袴付属	I-183-K23
46	印章「千秋氏」	黒檀	1 顆	江戸後期	半隠子	4.7×4.5×2.2	陽刻、側面に刻字「半隠子刻」、鈕あり	I-183-K24
47	印章「嶺松廬」	石	1 顆	江戸後期		1.9×0.9×1.8	陽刻、印袴付属	I-183-K25
48	印章「茂林修竹」	石	1 顆	江戸後期		2.1×2.1×1.3	陰刻、印袴付属	I-183-K26
49	印章「頼惟完」	真鍮	1 顆	明和 6 年	田子讓	2.3×2.3×2.6	引出蓋桐箱(4.5×3.2×3.1)付属、箱蓋「家宝」、側板「己丑臘月」「田子讓之貽」、陰刻、鈕(亀)、印袴付属、II-11-1「春水先生遺印」に「田子讓刻」との記載あり	I-183-K27
50	印章「春水」	黒檀	1 顆	江戸後期		2.1×1.4×4.0	陰刻、印袴付属	I-183-K28
51	印章「松廬」	陶製	1 顆	江戸後期		2.0×1.2×1.8	陰刻、鈕あり	I-183-K29
52	印章「□使」	石	1 顆	江戸後期		1.2×1.0×2.7	陽刻、側面に通し穴、印袴付属	I-183-K30
53	印章「芸藩教授」	石	1 顆	江戸後期	佐藤虞臣	1.9×1.9×2.6	陽刻、印袴付属、II-11-1「春水先生遺印」に「虞臣刻」との記載あり	I-183-K31

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
54	印章「必正楼」	黒檀	1 顆	江戸後期		2.3×0.9×1.9	陰刻, 印袴付属	I-183-K32
55	印章「惟」「完」(連印)	陶製	1 顆	江戸後期	子伯	2.3×1.3×1.9	陽刻, 鈕あり, 鈕に刻字「子伯作」カ, 印袴付属	I-183-K33
56	印章「頼惟完印」	石	1 顆	江戸後期		4.0×4.0×6.0	陽刻, 鈕(獅子), 印袴付属, 側面に墨書「亥子升大」カ	I-183-K34
57	印章「松廬」	石	1 顆	江戸後期		2.0×1.3×2.6	陽刻, 印袴付属	I-183-K35
58	印章「杉巷」	黒檀	1 顆	江戸後期		1.5×1.3×3.9	陰刻, 印袴付属	I-183-K36
59	印章「拙修」	石	1 顆	江戸後期		1.5×1.5×0.9	陽刻, 上面に彫り跡, 印袴付属	I-183-K37
60	印章「松風」	石	1 顆	江戸後期		2.5×1.5×1.4	陽刻, 印袴付属	I-183-K38
61	印章「尚古」	黒檀	1 顆	江戸後期		1.7×1.2×2.7	陰刻, 印袴付属	I-183-K39
62	印章「和亭」	木製(不詳)	1 顆	江戸後期		2.3×1.7×5.0	陰刻, 印袴付属	I-183-K40
63	印章「頼惟完」	石	1 顆	江戸後期		1.5×1.5×4.2	陽刻, 印袴付属, II-11-1「春水先生遺印」に「讃岐産黒石」との記載あり	I-183-K41
64	印章「千秋氏」	石	1 顆	江戸後期		1.6×1.6×1.9	陰刻, 印袴付属	I-183-K42
65	印章「松風竹日草廬」	御影石カ	1 顆	江戸中後期		2.4×2.4×2.5	陰刻, 鈕(亀), 印袴付属	I-183-K43
66	印章「松雨」(連印)	石	1 顆	江戸後期		1.4×1.4×2.5	陽刻, 側面に刻字「播州林田産」, 印袴付属	I-183-K44
67	印章「自然」	石	1 顆	江戸後期		2.0×1.1×1.8	陽刻, 印袴付属	I-183-K45
68	印章「松雨山房」	石	1 顆	江戸後期		1.8×1.7×3.3	陰刻, 印袴付属, II-11-1「春水先生遺印」に「備中小子部石」との記載あり	I-183-K46
69	印章「嶺松廬」	御影石カ	1 顆	江戸後期		4.5×2.8×5.3	陽刻, 印袴付属	I-183-K47
70	印章「山陽頼惟完」「臣心如水」(両面印)	石	1 顆	江戸後期	頼春水	5.0×4.7×2.9	陰刻「山陽頼惟完」, 陽刻「臣心如水」, 印包裂付属, II-11-1「春水先生遺印」に「以上, 係自刻」との記載あり	I-183-K48
	頼杏坪印章						I-184-K1~K21まで一括, 合蓋箱(18.0×12.5×13.1)付属, 内部に墨・朱墨汚れあり, 出品札「杏先生遺印式拾壹顆 頼家諸先生追慕会殿所蔵」, 同・朱文方印「頼杏坪先生之百年祭典記念」1顆	I-184
71	印章「頼惟柔印」「頼氏千祺」「牛田耕叟」「青山埋骨」「四郡支配兼編地誌」「愛吾廬」「杏坪」(六面印)	石	1 顆	文政6年	肥後蟻堂	3.0×2.0×3.5	陰刻(方印):「頼惟柔印」, 「頼氏千祺」, 「牛田耕叟」「青山埋骨」(連印), 陰刻(長方印):「四郡支配兼編地誌」, 陽刻(長方印):「愛吾廬」, 「杏」「坪」(連印), 印袴付属	I-184-K1
72	印章「惟柔之印」「頼氏千祺」(両面印)	鶏血石・馬蹄型	1 顆	江戸後期		2.0×2.6×1.7	陰刻(半円印), 印包裂付属	I-184-K2
73	印章「後口」	鶏血石	1 顆	江戸後期		1.9×0.9×3.2	陽刻, 上面に刻字あり, 印袴付属	I-184-K3
74	印章「頼惟柔印」	陶製・染付	1 顆	江戸後期	田邊伯表	1.8×1.8×2.5	陰刻, 鈕(象), 側面に染付「口ニ刻」, 印袴付属, IV-623-2「十旬花月帖 地」に「伯表恵磁印二顆, 木米恵磁蓋二枚, 共自製蒼古可愛賦謝」との記載あり	I-184-K4
75	印章「蒙斎」	石	1 顆	江戸後期		2.3×1.4×1.8	陽刻, 印袴付属	I-184-K5
76	印章「聞月日」	石	1 顆	江戸後期		2.3×2.3×2.2	陰刻, 印袴付属	I-184-K6
77	印章「頼柔私印」「安藝竹原人」(両面印)	珪化木	1 顆	江戸後期		2.2×2.5×2.4	陰刻, 印包裂付属	I-184-K7
78	印章「惟柔印信」「頼家第三子」(両面印)	石	1 顆	江戸後期		3.1×3.1×2.1	陰刻「惟柔印信」, 陽刻「頼家第三子」, 印包裂付属	I-184-K8
79	印章「杏者山樵」	石	1 顆	江戸後期		4.4×4.1×3.6	陰刻, 印袴付属	I-184-K9
80	印章「杏坪」	珪化木	1 顆	江戸後期		2.0×1.2×4.0	陰刻, 印袴付属	I-184-K10
81	印章「頼惟柔」「千祺」(両面印)	珪化木	1 顆	江戸後期		2.5×2.4×2.4	陰刻, 印包裂付属	I-184-K11

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
82	印章「坐華酔月」	陶製	1 顆	江戸後期		1.4×1.4×0.5	陽刻, 天面に鈕の剥離跡あり, 印袴付属	I-184-K12
83	印章「居士無倦」	石	1 顆	江戸後期		2.7×2.7×3.6	陽刻, 印袴付属	I-184-K13
84	印章「頼惟柔印」「千祺」(両面印)	石	1 顆	江戸後期		3.0×3.1×2.3	陰刻「頼惟柔印」, 陽刻「千祺」, 印包裂付属	I-184-K14
85	印章「柔印」	珪化木	1 顆	江戸後期		1.6×1.7×2.3	陰刻, 印袴付属	I-184-K15
86	印章「杏」「翁」(連印)	珪化木	1 顆	江戸後期		2.8×1.7×2.5	陽刻, 鈕あり, 印袴付属	I-184-K16
87	印章「解簪餘樂」	石	1 顆	江戸後期		4.5×2.7×2.1	陽刻, 印袴付属	I-184-K17
88	印章「頼惟柔印」「千祺」(両面印)	石	1 顆	江戸後期		6.2×6.2×5.1	陰刻「頼惟柔印」, 陽刻「千祺」, 印包裂付属	I-184-K18
89	印章「山弼」	竹根カ	1 顆	江戸後期		6.3×4.9×3.0	陽刻(楕円印), 印袴付属	I-184-K19
90	印章「惟」「柔」(連印)	石	1 顆	江戸後期		2.6×1.7×2.3	陽刻, 印袴付属	I-184-K20
91	印章「残夜水明書楼」	磁製	1 顆	江戸後期	孤舟	3.2×1.8×2.5	陽刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「南松山」「孤舟造」, 印袴付属	I-184-K21
	頼山陽印章						I-185-K1~K8まで一括	I-185
92	印章「頼氏子成」	石	1 顆	江戸後期		2.2×2.2×1.8	陰刻	I-185-K1
93	印章「頼襄之印」「頼氏子成」(両面印)	石	1 顆	天明2年		1.8×1.8×3.1	陽刻「頼襄之印」, 陰刻「頼氏子成」, 側面に刻字「壬寅正月[ ]」, 刻字に一部消し跡あり(人名カ)	I-185-K2
94	印章「頼襄子成」「山陽外史」(両面印)	石	1 顆	江戸後期		2.1×2.1×1.6	陽刻「頼襄子成」, 陰刻「山陽外史」	I-185-K3
95	印章「彫蟲」	石	1 顆	江戸後期	三草	2.7×1.5×2.7	陽刻, 側面に刻字「三草作」	I-185-K4
96	印章「山陽外史」	石	1 顆	江戸後期		1.9×1.9×3.9	陽刻, 側面に刻字「子」	I-185-K5
97	印章「頼襄之印」「頼氏子成」(両面印)	石	1 顆	江戸後期		2.2×2.3×2.1	陰刻	I-185-K6
98	印章「山紫水明」	石	1 顆	江戸後期		2.1×1.5×2.6	陽刻, 鈕あり	I-185-K7
99	印章「子」「成」(連印)	石	1 顆	江戸後期		2.5×0.8×0.8	陰刻, 上面に陰刻の線あり	I-185-K8
100	印章「翼翼」	石	1 顆	寛政9年	頼山陽カ	2.6×1.2×2.9	陽刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「丁巳五月十八日自彫」「三十六峰」, 鈕に付箋「印文翼翼, 頼山陽先生之印, 可保存」	I-191-1
	頼聿庵印章						I-186-K1~K19まで一括	I-186
101	印章「頼」「協」	珪化木	1 顆	江戸後期		2.1×2.1×4.6	陰刻, 鈕(獅子), 印袴付属	I-186-K1
102	印章「承緒」	珪化木	1 顆	江戸後期		2.1×2.2×4.4	陽刻, 鈕(波に鯉魚), 印袴付属	I-186-K2
103	印章「江山入夢」	石	1 顆	江戸後期		2.4×1.5×3.9	陰刻, 印袴付属	I-186-K3
104	印章「頼元協印」	石	1 顆	江戸後期		1.8×1.8×1.8	陰刻, 印袴付属	I-186-K4
105	印章「心無累」	石	1 顆	江戸後期		2.0×2.0×1.9	陰刻, 印袴付属	I-186-K5
106	印章「頼協之印」	石	1 顆	江戸後期		1.7×1.7×3.3	陽刻, 印袴付属	I-186-K6
107	印章「頼」「協」(連印)	石	1 顆	江戸後期		1.9×1.9×2.8	陰刻, 中国古銭型	I-186-K7
108	印章「一竿風月」	陶製	1 顆	江戸後期		1.7×1.7×1.6	陰刻, 鈕欠損, 印袴付属	I-186-K8
109	印章「頼協之印」	銅製	1 顆	江戸後期	孤舟カ	1.9×1.9×3.1	陰刻, 鈕(獅子), 印袴付属	I-186-K9
110	印章「頼協之印」	磁製	1 顆	江戸後期	孤舟	2.0×2.0×3.1	陽刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「南松山」「孤舟造」, 印袴付属	I-186-K10
111	印章「聿庵」	磁製	1 顆	江戸後期		2.0×2.0×2.9	陽刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「孤舟造」, 印袴付属	I-186-K11
112	印章「聿庵」	珪化木	1 顆	江戸後期		3.0×2.9×3.0	陰刻, 鈕(亀), 印面右上部欠損, 印袴付属	I-186-K12
113	印章「頼」「協」(連印)	石	1 顆	江戸後期		2.3×0.7×1.2	陽刻, 印袴付属	I-186-K13

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
114	印章「頼協之印」	石	1 顆	江戸後期		1.8×1.8×2.1	陰刻, 印面右下部欠損, 印袴付属	I-186-K14
115	印章「青天白日」	青田石	1 顆	江戸後期		1.8×1.7×3.2	陰刻(円印), 側面のうち3面に穴, 1面に陰刻の線あり, 印袴付属	I-186-K15
116	印章「書足以記名姓而已」	石	1 顆	江戸後期		2.8×2.3×3.3	陰刻, 印袴付属	I-186-K16
117	印章「頼協之印」	石	1 顆	江戸後期		2.4×2.4×3.3	陽刻, 鈕(柘榴の彫刻), 印袴付属	I-186-K17
118	印章「頼協」	石	1 顆	江戸後期		6.1×6.1×5.9	陰刻, 印袴付属	I-186-K18
119	印章「承緒」	石	1 顆	江戸後期		6.1×6.1×4.8	陽刻, 印袴付属	I-186-K19
120	印章「頼」「鼎」(連印)	石	1 顆	江戸後期		3.5×1.5×2.3	陽刻	I-191-3
	頼誠軒印章						I-187-K1~K18まで一括	I-187
121	印章「山高月小水落石出」	陶製	1 顆	明治時代		2.2×1.1×2.7	陽刻, 鈕(獅子)	I-187-K1
122	印章「孤松獨立」	石	1 顆	明治時代		2.0×1.5×2.4	陽刻	I-187-K2
123	印章「元啓之印」「子明氏」(両面印)	石	1 顆	明治時代		1.9×1.9×2.5	陰刻「元啓之印」, 陽刻「子明氏」, 印袴付属	I-187-K3
124	印章「頼元啓印」	石	1 顆	明治時代		1.9×1.9×2.5	陰刻	I-187-K4
125	印章「頼啓之印」	石	1 顆	明治時代		2.4×2.4×3.2	陽刻, 鈕(柘榴の彫刻), 印袴付属	I-187-K5
126	印章「頼啓」	石	1 顆	明治時代		1.6×1.6×4.8	陰刻, 鈕(獅子), 印袴付属	I-187-K6
127	印章「誠軒」	石	1 顆	明治時代		1.9×1.9×2.5	陽刻, 印袴付属	I-187-K7
128	印章「頼啓之印」「子明」(両面印)	石	1 顆	明治時代		1.9×1.9×3.2	陰刻「頼啓之印」, 陽刻「子明」, 印袴付属	I-187-K8
129	印章「頼元啓印」	石	1 顆	明治時代		1.9×1.9×4.5	陰刻, 印袴付属	I-187-K9
130	印章「誠軒」	石	1 顆	明治時代		1.9×1.9×4.3	陽刻, 印袴付属	I-187-K10
131	印章「好古」	石	1 顆	明治時代		1.4×1.1×2.5	陰刻	I-187-K11
132	印章「必正」	石	1 顆	明治時代	鍊畊山人	2.2×1.1×4.4	陽刻, 側面に刻字「鍊畊山人」, 印袴付属	I-187-K12
133	印章「必正」	石	1 顆	明治時代	鍊山人	1.2×0.8×2.6	陰刻, 側面に刻字「鍊山人」, 印袴付属	I-187-K13
134	印章「頼」「啓」(連印)	石	1 顆	明治時代		1.6×0.7×2.9	陰刻「頼」・陽刻「啓」, 中国古銭型	I-187-K14
135	印章「頼」「啓」(連印)	石	1 顆	明治時代		1.0×0.5×1.0	陽刻, 中国古銭型(紙縫紐つき)	I-187-K15
136	印章「頼啓」「子明氏」「推軒」(両面印)	石	1 顆	明治時代		2.2×1.3×2.2	陽刻(方印)「頼啓」・陰刻(方印)「子明氏」(連印), 陽刻(長方印)「推軒」, 印袴付属	I-187-K16
137	印章「頼元啓印」「誠軒」(連印)	石	1 顆	明治時代	雲座嘯	3.8×1.9×1.8	陰刻「頼元啓印」・陽刻「誠軒」, 側面に刻字「雲座嘯」カ, 印袴付属	I-187-K17
138	印章「頼元啓印」	石	1 顆	明治時代		3.2×3.3×4.1	陰刻	I-187-K18
139	印章「士丈」	石	1 顆	昭和時代		1.1×0.8×3.1	陰刻(楕円印), 青漆	III-18-3
	頼古樸印章						I-188-K1~K34まで一括(K4・27は欠番), 二方棧箱(26.0×19.7×9.0)付属	I-188
140	印章「壽如金石」	石	1 顆	大正時代		2.3×2.3×8.5	陽刻, 側面に刻字「永寶子孫召古」, 「口同壽」「大吉羊宣用」, 「荃草華光千里刻思吉羊」, 「一片水心」「吉金樂后」	I-188-K1
141	印章「看樸獨坐」	石	1 顆	大正時代	華亭	2.0×2.1×9.4	陰刻, 側面に刻字「華亭刀」, 鈕(士大夫立像)	I-188-K2
142	印章「我忘我」「頼氏元緒」(両面印)	竹	1 顆	大正時代		3.1×1.7×6.7	陽刻(楕円印), 側面上下に通し穴あり	I-188-K3
143	印章「頼元緒印」	石	1 顆	大正時代	竹淑	2.4×2.5×6.0	陽刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「呈 古梅詞兄 竹淑刀」	I-188-K5
144	印章「頼元緒」「士丈」(両面印)	竹	1 顆	大正時代		2.5×2.1×3.3	陽刻(円印), 左側面に刻字「茶山花」「水王」	I-188-K6

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
145	印章「頼元緒印」	石	1 顆	大正時代		1.6×1.6×5.3	陰刻, 印袴・印箱( I -188-K8と共箱) 付属	I -188-K7
146	印章「士丈氏」	石	1 顆	大正時代		1.6×1.6×5.3	陽刻, 印袴・印箱( I -188-K7と共箱) 付属	I -188-K8
147	印章「古樸」	陶製	1 顆	大正時代		1.8×1.3×3.0	陰刻	I -188-K9
148	印章「元緒」「古樸」(連印)	石	1 顆	大正 10 年	華亭	2.3×1.4×3.9	陰刻「元緒」・陽刻「古樸」, 側面に刻字「辛酉元旦華亭刀」	I -188-K10
149	印章「元緒」「頼氏」(連印)	石	1 顆	昭和 5 年	石佛	2.8×1.4×5.8	陰刻「元緒」・陽刻「頼氏」, 側面に刻字「于時庚午夏日於広島市外春秋荘 石佛」	I -188-K11
150	印章「古」「樸」(連印)	石	1 顆	大正時代		2.8×1.3×2.9	陰刻	I -188-K12
151	印章「頼元緒印」「字曰士丈」(両面印)	黒檀カ	1 顆	大正時代		3.0×3.0×5.2	陰刻「頼元緒印」, 陽刻「字曰士丈」, I -188-K13-1の台木に I -188-K13-2~3が組み合わされている, 印包裂付属	I -188-K13-1
152	印章「持志」「頼」「元緒」(両面印)	黒檀カ	1 顆	大正時代		3.2×1.4×3.0	陰刻(長方印)「持志」, 陰刻(方印)「頼」・陽刻(方印)「元緒」(連印)	I -188-K13-2
153	印章「頼氏元緒」「字士丈」(両面印)	黒檀カ	1 顆	大正時代		1.7×1.7×3.0	陰刻「頼氏元緒」, 陽刻「字士丈」, I -188-K13-3の台木に I -188-K13-4~5が組み合わされている	I -188-K13-3
154	印章「雲出岫」「士丈」「古某」(両面印)	黒檀カ	1 顆	大正時代		1.8×0.7×1.7	陰刻(長方印)「雲出岫カ」, 陰刻(方印)「士丈」・陽刻(方印)「古某」(連印)	I -188-K13-4
155	印章「元緒」「士丈」(両面印)	黒檀カ	1 顆	大正時代		0.8×0.8×1.7	陰刻「元緒」, 陽刻「士丈」, I -188-K13-5の台木に I -188-K13-6が組み合わされている	I -188-K13-5
156	印章「淡如水」「古」・「某」(両面印)	黒檀カ	1 顆	大正時代		1.2×0.3×0.8	陰刻(長方印)「淡如水」, 陰刻(方印)「古」「某」(連印)	I -188-K13-6
157	印章「頼」「緒」(連印)	石	1 顆	大正 6 年		1.1×0.6×3.1	陰刻「頼」・陽刻「緒」, 側面に刻字「丁巳暢月」「滌翁所寄贈」	I -188-K14
158	印章「陰々」	陶製	1 顆	大正時代		2.3×1.3×5.5	陽刻, 鈕(瓢箪)	I -188-K15
159	印章「元緒」	陶製	1 顆	大正時代		2.5×2.5×5.3	陰刻, 鈕(瓢箪), 側面に刻字「□月」( I -188-K17の刻字と同じ)	I -188-K16
160	印章「士丈」	陶製	1 顆	大正時代		2.4×1.3×3.8	陽刻, 鈕(瓢箪), 側面に刻字「□月」( I -188-K16の刻字と同じ)	I -188-K17
161	印章「必正」	石	1 顆	大正時代		2.4×1.3×3.8	陰刻	I -188-K18
162	印章「友竹」	石	1 顆	大正時代		1.7×0.8×4.5	陰刻, 鈕(獅子)	I -188-K19
163	印章「頼元緒印」	石	1 顆	大正時代		2.1×2.1×3.7	陰刻	I -188-K20
164	印章「子丈氏」	石	1 顆	大正時代		2.1×2.1×4.0	陽刻	I -188-K21
165	印章「頼元緒」	石	1 顆	大正時代		1.8×1.8×4.6	陰刻, 鈕(獅子), I -188-K23と一対	I -188-K22
166	印章「古某」	石	1 顆	大正時代		1.8×1.8×4.5	陽刻, 鈕(獅子), I -188-K22と一対	I -188-K23
167	印章「抗志」	石	1 顆	大正時代		1.2×0.8×3.2	陰刻	I -188-K24
168	印章「古木人」「士丈」(両面印)	石	1 顆	大正時代		1.0×1.0×3.8	陰刻「古木人」, 陽刻「士丈」	I -188-K25
169	印章「我忘吾」	石	1 顆	大正時代		2.4×0.9×7.3	陰刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「□□刀」( I -188-K28の刻字と同じ)	I -188-K26
170	印章「元緒之印」	石	1 顆	大正時代		2.2×2.2×7.5	陽刻, 鈕(獅子親子), 側面に刻字「□□刀」( I -188-K26の刻字と同じ)	I -188-K28
171	印章「頼元緒印」	石	1 顆	大正時代		3.2×3.2×8.8	陰刻, 鈕(獅子), I -188-K30と一対	I -188-K29
172	印章「字曰士丈」	石	1 顆	大正時代		3.2×3.2×8.5	陽刻, 鈕(獅子), I -188-K29と一対	I -188-K30
173	印章「清白傳家」	石	1 顆	大正時代		3.3×1.3×9.1	陽刻, 鈕(獅子)	I -188-K31
174	印章「清適」	石	1 顆	大正 7 年	松居老人	7.1×3.7×5.2	陰刻, 側面に刻字「戊午冬日松居老人刀」, 印袴付属	I -188-K32
175	印章「頼元緒印」	石	1 顆	大正時代	松居	6.2×6.2×5.2	陰刻, 側面に刻字「松居刀」, 印袴付属	I -188-K33
176	印章「士丈氏」	石	1 顆	大正時代	松居	6.3×6.3×5.3	陽刻, 側面に刻字「松居刀」, 印袴付属	I -188-K34

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
177	印章「古樸」	石	1 顆	大正時代		1.6×1.6×5.2	陽刻, 鈕(獅子)	I-191-4
178	印章「頼元緒印」「松濤」(連印)	石	1 顆	江戸後期	忘軒主人	2.6×1.3×2.1	陰刻「頼元緒印」・陽刻「松濤」, 側面に刻字「忘軒主人刀」	I-191-5
	頼樸厓(成一)印章						I-189-K1~K22まで一括	I-189
179	印章「頼元孚印」	石	1 顆	昭和時代	雙石井碩	1.6×1.6×5.0	陰刻, 鈕(象), 側面に刻字「樸厓先生 雙石井石」, 印包裂にて I-189-K1~K4まで一括	I-189-K1
180	印章「子儀」	石	1 顆	昭和時代	雙石井碩	1.6×1.6×5.0	陽刻, 鈕(象), 側面に刻字「雙石井碩」	I-189-K2
181	印章「頼孚」	石	1 顆	昭和時代	雙石	0.7×0.7×3.6	陰刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「雙石」	I-189-K3
182	印章「樸厓」	石	1 顆	昭和時代	雙石	0.7×0.7×3.5	陽刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「雙石」	I-189-K4
183	印章「不憂不懼」	石	1 顆	昭和時代	(雙石井碩)	2.4×0.4×7.4	陰刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「不憂不懼」, 印箱にて I-189-K5~K7まで一括	I-189-K5
184	印章「頼元孚印」	石	1 顆	昭和6年	雙石井碩	2.3×2.3×7.4	陰刻, 鈕(獅子親子), 側面に刻字「樸厓頼先生属刻因仿潼鑄銅印幸政之 辛未冬日雙石井碩」	I-189-K6
185	印章「子儀」	石	1 顆	昭和時代	雙石井碩	2.3×2.3×7.4	陽刻, 鈕(獅子親子), 側面に刻字「樸厓先生表字印 雙石井碩」	I-189-K7
186	印章「清白」	石	1 顆	昭和時代	雙石	0.8×0.4×3.4	陰刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「雙石」	I-189-K8
187	印章「頼孚」	石	1 顆	昭和時代	雙石	0.9×0.9×3.1	陰刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「雙石」, I-189-K10と一対	I-189-K9
188	印章「子儀」	石	1 顆	昭和時代	(雙石)	0.9×0.9×3.1	陽刻, 鈕(獅子), I-189-K9と一対	I-189-K10
189	印章「鬻々」	石	1 顆	昭和時代	雙石	1.3×0.7×3.9	陰刻, 鈕(瓦か), 側面に刻字「鬻々 雙石生」, 印袴付属	I-189-K11
190	印章「清白傳家」	石	1 顆	昭和時代	雙石	1.6×0.8×4.9	陰刻, 鈕(象), 側面に刻字「清白傳家 雙石」	I-189-K12
191	印章「頼氏元孚」	石	1 顆	昭和時代		1.8×1.8×3.9	陰刻	I-189-K13
192	印章「樸厓」	石	1 顆	昭和時代		1.7×1.7×3.7	陽刻	I-189-K14
193	印章「頼」「孚」(連印)	石	1 顆	昭和時代	松居七十翁	1.9×0.7×4.2	陰刻「頼」・陽刻「孚」, 鈕(獅子), 側面に刻字「松居七十翁刀」, 印袴付属	I-189-K15
194	印章「松雨山房」	石	1 顆	昭和時代	松居七十翁	1.4×1.4×4.1	陽刻, 側面に刻字「松居七十翁刀」, 印袴付属	I-189-K16
195	印章「頼孚」	石	1 顆	昭和時代	惇	2.4×2.4×6.1	陰刻, 鈕(獅子親子), 側面に刻字「惇刻」, 印袴付属, I-189-K18と一対	I-189-K17
196	印章「樸厓」	石	1 顆	昭和時代	惇	2.4×2.4×5.8	陽刻, 鈕(獅子親子), 側面に刻字「惇刻」, 印袴付属, I-189-K17と一対	I-189-K18
197	印章「孚印」	石	1 顆	昭和時代	雙石井碩	1.3×1.3×4.0	陰刻, 鈕(瓦か), 側面に刻字「雙石井碩」, 印袴付属, I-189-K20と一対	I-189-K19
198	印章「子儀」	石	1 顆	昭和時代	雙石	1.3×1.3×4.0	陽刻, 鈕(瓦か), 側面に刻字「雙石刻」, 印袴付属, I-189-K19と一対	I-189-K20
199	印章「樸厓」	石	1 顆	昭和時代	雙石	1.6×1.6×5.5	陽刻, 側面に刻字「雙石」「吉祥」	I-189-K21
200	印章「恭筆」カ	石	1 顆	昭和時代		1.8×0.6×4.0	陽刻	I-189-K22
201	印章「頼成之印」	真鍮カ	1 顆	昭和時代カ		2.4×2.4×2.8	陰刻, 鈕(鎖:全長6.0)	I-191-6
202	印章「頼千枝」	石	1 顆	江戸後期		1.4×1.4×2.8	陽刻, 側面に刻字「上」	I-191-2
203	印章「頼」	石	1 顆	昭和時代		1.2×0.8×2.2	陽刻(楕円印), 側面に通し穴あり	Ⅲ-18-1
204	印章「山口罔文」カ	柘植	1 顆	昭和時代		1.1×1.1×2.4	陽刻(円印), 側面に通し穴あり	Ⅲ-18-2
205	印章「厲廼」	石	1 顆	昭和時代	新穀主人	3.1×1.7×4.0	陽刻, 鈕(獅子), 側面に刻字「新穀主人仿漁父作」, 印袴付属	Ⅲ-19-1
206	印章「春翁」「高伯夢」カ(両面印)	石	1 顆	昭和時代		1.3×1.7×1.8	陰刻	Ⅲ-19-2
	頼秋蘭印章						印箱にて I-190-1~3まで一括	I-190
207	印章「鹽谷季緯」	石	1 顆	昭和時代	雙石	1.4×1.4×4.1	陰刻, 鈕(カササギ), 側面に刻字「雙石」	I-190-1
208	印章「秋蘭」	石	1 顆	昭和時代	(雙石)	1.4×1.4×4.1	陽刻, 鈕(カササギ)	I-190-2
209	印章「思無邪」	石	1 顆	昭和時代	(雙石)	1.4×0.5×4.2	陰刻, 鈕(カササギ)	I-190-3
210	印褥	木製	1 点	江戸後期		13.1×8.0×1.0	板を厚紙で包む, 墨・朱の汚れ, 虫損あり	I-192-2

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
211	印盒	木製(桐カ)	1箱	江戸後期		9.2×9.2×3.0	黒漆塗印籠箱, 蓋:9.2×9.2×0.8, 身内径:7.8×7.8, 蓋に楼閣・庭園・池図, 蓋・側板に菱繋ぎ文様, 蓋に干割れあり, 印泥(朱)付属	I-192-3
212	印盒	木製、朱漆塗	1点	明治以降カ		直径5.9、高1.6	印泥(朱)あり	I-193-5
213	印矩	黒檀	1点	江戸後期		12.0×6.9×0.8	卜字矩	I-192-1
214	印矩	木製	1点	明治以降カ		14.2×5.2×0.6	亀裂, 朱・墨の汚れあり	I-193-2
215	印矩	木製	1点	明治以降カ		14.3×7.0×0.9	朱の汚れあり	I-193-3
216	印矩	牙(水牛)カ	1点	明治以降カ		3.6×3.3×0.6	刻字『松波清玩』	I-193-4
217	箱	木製	1合	江戸後期		25.6×12.0×8.5	覆箱, 懸子蓋(24.4×10.6×2.0)あり, 杉材箱に紙を貼り黒漆塗	I-169
218	帙箱	桐、藍裂	1箱	明治以降カ		16.2×11.2×4.8 (14.5×9.6×3.6)	外題題簽(墨書なし), 帙見返に絵画・落款(草花, 「華村」, 黒文方印「華村」1顆)印刷, 見返裏に朱文方印「松雨山房」1顆, 赤スタンプ「寒山寺製帙」, 印袴3点付属	I-193-1
219	算木	木製	12本			1.2×1.2×9.0	6本1組の2セット, 正方柱中央を削り朱で彩色	I-179
220	算木	木製	6点			1.7×1.7×10.5	本体中央に切り込み, 朱で彩色, 付属布袋(17.7×19.6, 絹製瓢柄)	I-201-1
221	筮竹	メギグサ	50本			0.3×0.3×30.3	50本の内1本折れ, 50本全ての両端に朱・黒漆塗, 付属品絹布2枚(濃緑・黄染)・平打紐	I-178
222	袋(分興)	紺地縞綿布	1点	大正時代カ	頼古楳	34.3×24.8	白綿布縫付, 墨書「分興」	III-354-3
223	袋(我家先分興)	紺地縞綿布	1点	大正時代カ	頼古楳	32.5×24.8	白綿布縫付, 墨書「我家先分興」	III-354-4
224	袋(保存)	紺地縞綿布	1点	大正時代カ	頼古楳	32.5×24.5	白綿布縫付, 墨書「保存」	III-354-5
225	紐(平打紐)	平打紐(萌黄染)	1点	大正時代カ	頼古楳	0.8×145.0		III-354-6
226	紐	紺地綿布製紐	1点	大正時代カ	頼古楳	0.9×58.0	紺地布を紐状に縫ったもの	III-354-7
227	御定紋	紙本(印刷)	1綴		丸佐呉服店	11.8×7.4	紙袋(19.7×11.6, 渋引き)にてIII-98-1~5を一括, 紙袋貼紙「孔方」, 厚紙表紙, 外題印刷「御定紋 丸佐呉服店」, 頼家家紋・二つ瓶子, 替紋・向鹿角, 同・花銀杏の紋型帳	III-98-1
228	紋型(二つ瓶子)	黒地染抜き	1点			5.0×3.8	縫い合わせの裂1枚欠	III-98-2
229	紋型(向鹿角)	黒地染抜き	1点			5.3×6.0	裂2枚を縫い合わせ	III-98-3
230	紋型(向鹿角)	藍地染抜き	1点			5.7×5.6	厚紙(20.3×15.1)に紋型を貼付, 厚紙墨書「紋型 袋町 頼」, 紫印「京染 カワチ口(屋カ)」	III-98-4
231	紋型(向鹿角)	黒地染抜き	1点			3.5×3.5	軍事郵便はがき(14.0×9.0)に紋型を貼付, 葉書墨書「上」(紋型上部に記載)	III-98-5
232	袷(肩衣) 伝頼山陽着用	麻(茜染)	1点	天明2年頃		51.0×35.3	背中上部と前襟の左右に向鹿角紋あり, 背裏と前襟の左右裏に楮紙(二枚どり)貼付, 右襟裏にしつけ糸あり	I-162-1
232	袷(袴) 伝頼山陽着用	麻(茜染)	1点	天明2年頃		59.5×44.7	腰板部分に向鹿角紋あり, 前紐(2.0×98.0)・後紐(1.5×47.5)各2本, 藍染糸による補修跡あり	I-162-2
	頼惟清物入						I-163-1~10-4まで一括	I-163
233	懐紙入 伝頼惟清使用	藍地木綿平織	1点	江戸後期		12.0×19.0×2.5 (開:26.5×19.0)	二つ折袋, 裏地:紫地平絹, 衣囊内側:白地麻布, 小鉤(象牙・鼈甲)付属	I-163-1
234	[頼惟清歌稿写] (「年内立春」 「試筆」「歳暮」「若菜」)		1通	江戸後期	(頼春風)	13.8×27.0	包紙(24.6×34.7, 半紙)にてI-163-2-1~2を一括, 包紙(頼春風筆)「先府君御和歌草本小沢宗匠和歌うつし」, 校訂(墨)	I-163-2-1
235	[小沢蘆庵和歌写]		1通	江戸後期	(頼春風)	15.9×39.6		I-163-2-2



器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
236	[干支・年号・王代・将軍代早見表]	紙本木版, 一部加筆	1通	(元文年間)		32.3×47.6	包紙2枚(各20.3×27.8, 楮紙, 後補)にてI-163-3-1~2を一括, 包紙(頼春風筆)「年代記 日本絵図 国ツケ」, 刊記「書林(住所略)野村長兵衛蔵版」, 両面摺, 表面:干支・五行・年号(大化~天明)・納音, 「元文」の途中から「天明」までは年号・年数を追記(天明は年号のみ), 裏面:王代・将軍代・大日本国之恩・尺寸目盛, 裏面に「神武元年ヨリ(中略)都合二千三百九十五年」「今上皇帝 万万歳 元文元金銀吹替文字」の表記あり, 紙背に外題用の貼紙あり(未記入)	I-163-3-1
237	[日本絵図]	紙本木版	1通	江戸中期		30.0×46.0	紙背墨書「大くし屋 小十郎よりもらう」, このほか紙背に墨抹あり, 行基図系, 国境を黄, 城を朱に着色, 北は松前, 西は対馬・朝鮮南部, 西南は琉球, 南東は八丈島, 余白に陸海路の里程を記載	I-163-3-2
238	新板道中記	紙本木版	1冊	宝暦七丑年 四月改板		9.0×17.0	紙帯にてI-163-4-1~2を一括, 紙帯(頼春風筆)「先府君手沢 二冊」, 共紙表紙, 外題題簽(摺)「新板 道中記」, 表紙「江戸日本橋方(中略)会津米沢通 末」(摺), 刊記「宝暦七丑年四月改板 安積郡高倉村俊恒」, 三丁目ウ(日光道)墨書「下ハ」, 四丁目ウ(同)「馬」, 五丁目オ(米沢道)「ヨシツ子腰カケ松, 弁慶ノ硯」, 七丁目オ(羽黒山道)「山寺方」(丁数は版心記載分)	I-163-4-1
239	[江戸日本橋より奥州仙台迄里程記]	紙本木版	1冊	江戸中期		7.4×16.1	黒表紙, 首題「江戸日本ばし方おうしうせんたい迄 道のり 本だちんづけ からしりづけ」, 刊記「通油町 板元 丸屋甚八」, 「本宿」「武州」「茶や」「武州・下総さかい」「名所」等の書込あり	I-163-4-2
240	妙薬聞書(まむし妙薬)		1通	江戸中期		14.4×45.8		I-163-5-1
241	[妙薬聞書](イホ)		1通	江戸中期		12.1×24.1		I-163-5-2
242	[某書簡](建物普請・屋号につき)		1通	江戸中期		16.0×52.4	切断・糊離れ等により5枚に分離(縦16.0, 横28.9, 9.9, 10.5, 1.5, 1.6, 一部欠失のため接続せず), 「屋号をつけ度候へ共存付無之, いまた取極メ不申, 貴殿存より候ハハ被申越度候」「金屋などよく候ハんと申被越候由中々能候, 我等存付ハ松島屋と可仕哉, いかに被存候哉」との記載あり	I-163-5-3
243	民間薬「血とめ 鶴のもゝけ」	羽毛	1包	江戸中期		24.6×17.0	包紙2枚(24.6×17.0, 24.3×16.6, 半紙)付属, 包紙「血とめ 鶴のもゝけ」, 包紙内に羽毛あり	I-163-6
244	木片	木	1点	江戸中期		1.1×0.8×0.7	包紙(23.3×7.7, 楮紙)「御寺」	I-163-7-1
245	香木(きやら)	香木	1点	江戸中期		1.4×0.6×0.3	包紙(薄茶地貝殻文唐紙, 裏面に竹皮)にI-163-7-2-1~4を一括, 同裏墨書「弥太郎」, 木片包紙(23.7×17.0, 半紙)「きやら」	I-163-7-2-1
246	香木(きやら)	香木	1点	江戸中期		1.0×0.8	包紙(12.5×16.8, 半紙)「きやら香」「きやら香」	I-163-7-2-2
247	香木(沈香)	香木	1点	江戸中期		1.0×0.2	包紙(11.0×12.3, 半紙)「沈香」	I-163-7-2-3
248	香木	香木	1点	江戸中期		1.7×0.4×0.2	包紙(5.6×4.4, 藍地丸花菱文摺)あり	I-163-7-2-4
249	折尺	真鍮	1点	江戸中期		0.9×30.3(折畳: 15.6×0.9)	真鍮板2枚の下端を鋸留め, それぞれ片面に寸・分の目盛あり	I-163-8
250	角筆	象牙(筆先), 紫檀(柄)	1本	江戸中期		0.5×15.2	後補布袋にI-153-9-1~2を一括, 柄:9.4cm, 筆先:5.5cm	I-163-9-1
251	角筆	竹	1本	江戸中期		0.3×11.9		I-163-9-2
252	札入	紺地小菱文地に 丸菟文金欄	1点	江戸中期		7.7×12.8	二つ折袋, 裏地・衣囊内側:黒地縹子(劣化甚), 小鉤(象牙カ)・麻紐束(I-163-10-1~4を一括カ)付属	I-163-10-1

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
253	「雷神木実」		18点	江戸中期			包紙2枚付属, 包紙(23.4×16.5, 半紙)「雷神木実」, 包紙(19.1×16.5, 楮紙)「日光御本社左ハキニ真砂地有□□□□ニ雷神木あり」龍門寺ニトリテモラフ, 種子9点, 木片9点	I-163-10-2
254	「ないし所の節分豆」		1包	江戸中期		7.0×4.5	包紙(18.3×24.2, 楮紙)「ないし所の節分豆」	I-163-10-3
255	もぐさ		1包	江戸中期		6.8×4.5	包紙(13.4×18.8, 楮紙)「もぐさ」	I-163-10-4
	頼春水物入						I-164-1~23まで一括	I-164
256	懐紙入 伝頼春水使用	薄茶地立湧に唐草文緞子	1点	江戸後期		12.5×21.0×2.0 (開:36.0×21.0)	二つ折袋, 裏地:薄茶地平絹(損傷甚), 金属製留具(1.9×2.0×0.1)・後補萌黄地布袋(13.5×25.5×1.3, 紐付)付属	I-164-1
257	懐中曆 七十二候入	紙本木版(折畳装)	1舗	文化十二乙亥年	大経師降屋内匠	22.5×15.7(折畳:7.5×4.0)	白麻葉草花文表紙, 外題題簽「懐中曆 七十二候入」, 首題「文化十二乙亥年略曆七十二候」, 刊記「大経師降屋内匠」	I-164-2
258	〔御直書写〕(水主町二階楼名および記文につき)		1通	七月	(頼春水)	14.2×20.0	包紙①(24.3×17.0, 半紙)に包紙②(16.9×17.7, 色半紙, 反故紙使用)とI-164-3-1~5までを一括, 包紙①「尊筆」, 包紙②「御直書写等々 外ニ被下御筆ハ皆々返上」, 反故紙「寺西司馬」, 端裏書「御直書写」	I-164-3-1
259	〔某書簡〕(拙詩批正願)		1通	九月五日		18.0×14.7		I-164-3-2
260	〔書付〕(昨日の天気は御仁徳天も感応し候場合ニハ無之哉)		1通	(文化2年)五月廿五日	山田図書	13.9×23.8	端裏書「山田図書殿手書 御帰城之時之事」, 頼杏坪の扈從帰藩につき記載あり	I-164-3-3
261	〔御直書写〕(先生へ極内密得斗申談考等モ有之候ハ、可申出候事)		1通	文化六年己巳九月十四日	(頼春水)	16.3×27.2	端裏書「文化六年己巳九月 御直書写」	I-164-3-4
262	〔書付〕(諸教導筋には文武・芸術に励む者を選ぶべきこと)		1通	文化十一年七月	(頼春水)	14.5×29.0	端裏書「文化十一年七月之事」「中島正左衛門へ申遣候ひかへ」, 校訂(付紙に墨), 付紙(14.3×5.7, 諸口紙)	I-164-3-5
263	「礮宮八幡宮御久米」	米	30点	江戸後期			包紙②(24.7×17.4, 半紙)に御久米30点を包み, 包紙①(24.6×17.3, 半紙)にて一括, 包紙①(頼春水筆)『竹原礮宮御久米』, 包紙②(木版刷)「礮宮八幡宮 御久米」	I-164-4
264	「相州左余呂岐 筆艸」	コウボウムギ	1点	江戸後期		1.3×15.2	包紙(29.0×23.0, 諸口紙)「相州左余呂岐 筆艸 一 玄蛙」, 墨書にて「相州左余呂岐 筆艸 頼弥太郎」と記載の一紙(24.3×4.4, 色半紙)付属	I-164-5
265	口上之覚(井上数次郎・菅喜蔵, 今日出帆罷帰申候事)		1通	十二月	頼弥太郎	14.4×22.7	包紙(24.4×34.1, 半紙)にてI-164-6-1~2を一括, 包紙「公辺ニかゝル」, 端裏書「数次郎 喜蔵ひかへ」, 「仙石越前守様御内 井上数次郎」「予州西条家中 菅喜蔵」との記載あり	I-164-6-1
266	〔書付〕(病気見舞状)		1通	文化十一年七月廿一日	青木弥太夫	14.6×44.2	封上書「内用御直披」, 端裏書(頼春水筆)『文化十一年七月廿一日 青木弥太夫殿方』	I-164-6-2
267	〔覚書〕(土と申す事につき)		1通	江戸後期	(頼春水)	14.3×7.0		I-164-7-1
268	〔書付〕(長尾氏の儀につき)		1通	十月十四日		14.2×25.3	端裏書「続書キ」, 「閑縁無之 箕浦静磨 実母里 佐々木久蔵 異父兄弟 藤井清太 遠縁 築山軍次 妻里 進藤和多理 相賀 菅野栄蔵」との記載あり	I-164-7-2
269	〔漢文「予名雲竹荘之■曰静賞…」〕		1通	江戸後期		16.6×6.8		I-164-7-3
270	〔尚々書〕(茶山先生昨夜尼崎, 船にて御発足, 御陸行無程相帰郷と奉存候)		1通	(文化12年3月23日)		16.7×16.3	宛所「春水老先生」, 「京師徳太郎様, 御堅勝可被成御座候」との記載あり	I-164-7-4
271	覚(亥年分模相掛銀の札銀三百目受取につき)		1通	亥極月五日	札場	14.0×7.7	黒文円印1顆, 黒文楕円印1顆, 黒文長方印3顆	I-164-7-5
272	「正月廿五日饗応ノ到来もの」		1通	正月廿五日(文化9年以後)	(頼杏坪カ)	12.4×26.9	「京 白雪糕」との記載あり	I-164-7-6
273	〔草稿「剩頭五十…」〕		1通	江戸後期	(頼春水)	16.6×7.7	懸点(墨), 書簡反故紙を使用, 反故紙「春水老先生 尊梧下」	I-164-7-7

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
274	[草稿](服部栗斎の説, 程朱学と不合につき)		1通	江戸後期	(頼春水)	14.0×8.2	校訂(墨), 「有人論心其説似而非矣, 余懼其談人賦此弁也」「右ハ服栗カ心説與程朱不合ニ付作申候, 未服ニ見セ不申候, 追而示シ可申候, 宮原ハ弟ト同見儀ナリ」との記載あり	I-164-7-8
275	[十二律]		1通	江戸後期	(頼春水)	12.5×4.7		I-164-7-9
276	[書付](右京様の中庸御会読につき出勤すべきこと)		1通	九月十六日		11.9×18.5	端に裂, 虫損・汚れあり, I-156-4と関連カ(岡村民之助の筆跡とは異なる)	I-164-7-10
277	[和歌二首「七十になりける三月三日に年賀し侍りて」]		1通	(安永5年) 三月三日	頼惟清	16.7×12.0	「惟清 上」との記載あり	I-164-7-11
278	[人名書付]		1通	江戸後期	(頼春水)	15.3×10.7	頭点(墨)	I-164-7-12
279	名札「頼弥太郎」		2通	江戸後期	(頼春水)	14.5×3.8, 14.2×3.5		I-164-8
280	小半紙	紙	18枚	江戸後期		20.0×27.8(9枚), 21.2×25.9(9枚)		I-164-9
281	ペン(鷲筆)	羽軸根(筒状)	1点	江戸後期		0.8×13.2	先端斜めに切断, 柄の表面と筒の内側に墨跡あり	I-164-10
282	眼鏡	鼈甲, ガラス	1点	江戸後期		5.8×8.3×0.2	掛具なし両眼鏡, レンズ(眼鏡内径):3.5×3.5, 眼鏡ケース(印伝カ):5.3×8.3×0.5, 眼鏡ケース・朱漆書「春水」, 鼈甲の枠に一部割れ・欠けあり	I-164-11
283	懐中蠟燭	蠟, 麻糸	1点	江戸後期		6.5×6.2×0.4	渦巻き状蠟燭(麻糸の束の外側を蠟で固めて渦巻き状にしたもの), 麻糸の先端に火をつけた跡あり	I-164-12
284	「大坂本方 入残膏御目薬」		1包	江戸後期		3.2×2.3	竹皮(6.0×2.3)で膏葉(3片に分離)を包み, 包紙(9.7×12.7, 楮紙, 木版刷)にて薬効を記載)にて一括, 包紙(木版刷)「大坂本方 入残膏御目薬(中略)江戸芝かへらけ町四丁目西がわ石ばしきわ 浅田寿庵(花押)」, 竹皮の内側にも膏葉付着	I-164-13
285	木彫人形	木彫, 彩色	1点	江戸後期		5.5×3.5×2.3	能仕舞小像(右手に扇, 赤い長髪), 顔・左手欠, 像底に錐穴あり	I-164-14
286	小刀様製品	石(刀身), 銀(柄)	1点	江戸後期		2.1×6.5		I-164-15
287	印章「頼」「惟完」, 「春水」(両面印)	木製(柘植カ)	1顆	江戸後期		3.7×1.9×0.4	陰刻「頼」「惟完」(連印), 陽刻「春水」	I-164-16
288	眼鏡レンズ	ガラス	2点	江戸後期		3.2×3.3×0.15/3.35×3.3×0.1	包紙(13.7×15.4, 楮紙)・木札(5.2×1.6×0.2, 紐付)付属, 木札両面に墨書「頼弥太郎」(頼春水筆)	I-164-17
289	熊胆		1包	江戸後期		5.4×4.0	包紙(23.0×20.6, 楮紙)「掛目四分 熊胆」	I-164-18
290	朱墨	墨	1点	江戸後期		2.6×2.9×1.2	包紙(13.4×11.9, 半紙)に反故紙使用, 反故紙「芸州御家中 頼弥太郎様 京師 金口」, 朱墨は4片に分離, 両面に文様あり	I-164-19
291	「拝領御衣之切」	白地亀甲菊花文綾	1点	江戸後期		5.4×4.0	包紙(19.7×11.2, 小半紙, 頼春水筆)「御衣之切」「拝領」	I-164-20
292	「春水様御わけこ」(春水遺髪)	毛髪	1束	江戸後期		0.5×5.0, 髪束:厚0.4	包紙(14.4×20.7, 諸口紙, 反故紙使用)「春水様御わけこ」「御わけこ」, 反故紙「十二月廿四日」	I-164-21
293	楊枝	木製	6本	江戸後期		7.4×0.3×0.3	包紙(20.2×26.8, 小半紙)あり	I-164-22
294	木札	木製	1点	江戸後期		3.9×0.9×0.1	木札両面に墨書(頼春水筆)「頼弥太郎」, 紐付	I-164-23
295	眼鏡	鼈甲, 絹紐	1点	江戸後期		6.6×10.7	レンズなし(内径3.9×3.9), 鼻当て部分に紙と裂を巻く, 右眼枠欠け部分に針金補修あり, 包紙は書簡反故紙(春水が詩稿に使用, III-131の一部)	III-361-1

器物類

番号	名称	材質	員数	時代	作者	法量	備考	管理番号
296	眼鏡	セルロイド, レンズ, ニッケル合金	1点	昭和時代		4.8×10.7	メガネケース付属	Ⅲ-387-12
297	「御眼鏡のゆみ」	黒竹, 真鍮	3本	江戸後期		0.3×38.5	包紙(29.0×45.8, 諸口紙)「御眼鏡のゆみ」, 竹棒3本のうち, 1本は両端に真鍮製接合金具(各0.3×13.6), 他2本の片側先端に結紐あり	I-165
298	麒麟花卉文染付稷花京焼皿 (伝 梅颯京土産)	磁器	9枚	江戸後期		各 9.2×9.2×2.5	杉二方棧蓋箱(22.5×11.2×9.4), 蓋表「新渡手塩十人前」, 蓋裏「梅大人京御土産 本家頼什器之一」, 側板(天地)「新渡手塩 十」, 同貼紙「別参號 九枚 一枚ワレ」, 底板「頼藏」, 箱内に反故紙2枚(24.0×32.0, 罨紙)あり, 高台(5.4×5.4×3.0), 高台裏に窯印あり, 9枚現存(うち1枚破損)	I-166
299	頼氏祭器(白鹿坐像青楓香炉)	陶製	1点	江戸後期		7.0×14.0×8.0	付属品①桐二方棧蓋箱(15.1×8.0×9.5), 蓋表墨書・春水筆「香爐」, 蓋裏墨書・春水筆「頼氏祭器 安藝賀茂郡河尻村所陶也」, 両小口に墨書・春水筆「香爐」, 平打紐付, 蓋の棧外れ・一本欠, 付属品②杉二方棧蓋箱(17.5×11.6×14.0), 身の底に墨書「頼氏」, 後補品(大正時代か)	I-168
300	銀葉(香道具)	雲母板	1点			2.5×2.5	円形容器(7.0×7.0×1.5, 木製, 内側金彩色)付属	I-201-2
301	香合(亀)	陶製カ	1点			6.2×4.5×3.3	灰白色, 蓋(6.2×4.5×1.5)と身(4.8×4.3×1.8)に分かれる	I-171
302	煎茶急須	萩焼	1点			8.3×10.0×5.0	蓋(7.5×7.5×2.0), 身(8.3×10.0×5.0), 付属品・紙箱蓋表に貼紙「六号(明成化)(煎茶・碗)」, 小口に貼紙「6号」「ナカミアリ今回保留」	I-204-1
303	煎茶湯さまし	萩焼	1点			7.6×9.0×4.5		I-204-2
304	煎茶碗	萩焼	5点			5.5×5.5×4.2	高台に萩焼の切り込みあり	I-204-3
305	抹茶碗(冬茶碗・黒)	陶製・黒染焼	1点			10.5×11.0×6.5	紙箱付属, 表貼紙「抹茶茶碗ニヶ茶杓共」	I-205-1
306	抹茶碗(夏茶碗・赤茶)	陶製・赤平焼	1点			13.5×13.5×4.0		I-205-2
307	茶杓	竹製	1本			19.0×1.0	付属品・竹棒(先端刀形状, 12.8cm)	I-205-3
308	茶合	竹製	1点		茶月刀之	19.0×4.1×1.5	煎茶の茶葉用具, 梅樹に花の彫刻	I-205-4
309	蒔絵吸物椀(会津家土土屋七郎寄贈)	木製漆塗椀	10点	江戸後期		12.3×12.3×7.8	蓋付椀, 蓋(11.5×11.5×2.7, 黒漆地に蒔絵・嶺に松柄, 金泥で「嶺松廬」), 身(12.3×12.3×5.5, 黒漆地に蒔絵・松葉), 蓋・身とも内側は朱塗り, 付属・切二方棧蓋箱(29.5×14.0×25.0, 箱右側面に「会津家土土屋七郎寄贈」, 左側面に「文化十一年甲戌(欠)」, 小口(天)に「会津椀蒔絵吸物椀十人前」・貼紙「別四號」, 小口(地)「会津椀蒔絵吸物椀十人前」	I-167
310	分銅	銅製	1点	江戸後期カ		4.0×2.8×1.9	極印	I-191-7
311	筭	銅製	1点			21.0×1.2	柄に桐花文三つ(金彩色)	I-201-8
312	銀杯	銀製	1点			4.0×4.0×8.3	脚部口径3.8cm, 脚部底面に「純銀」の刻印, 脚部は折れている	I-205-5
313	海米根(植物標本)		1点	江戸後期		20.7×1.0	包紙(42.2×16.0, 杉原紙)「海米根 二見浦所得山田釜谷数馬荒木田興正所寄贈」, 別紙(24.4×4.2, 色半紙)「海米根 頼弥太郎」, 植物標本は包紙に赤糸で二か所を固定	Ⅲ-334-1
314	筆草	筆草・短冊(厚紙, 裏面藍染)	1点	江戸後期		筆草:18.2×4.6 短冊:28.0×4.8	包紙(1点 31.3×23.3, 杉原紙, 「高山彦九郎所贈」「方品川筆草」, 虫損), 「元緒識語」(筆草につき)(1点, 27.5×7.5, 機械漉紙, 「明治丁酉秋九月予閱家蔵旧函得一奇物矣(中略)元緒謹識」)	I-182
315	「神験丹(釦状薬)」	不明	5点			1.8×1.8×0.5	紙袋(15.0×10.8)付属, 表裏に薬名「神験丹」ほか薬効記載, Ⅲ-99-1~2を同封	Ⅲ-99-1
316	「神験丹(棒状薬)」	不明	3点			0.4×0.4×4.5		Ⅲ-99-2